

## 岩国集会報告

### 「国の仕打ちに怒りの

#### 1万人集会

#### i n 錦帯橋」

怒・怒・怒・怒・怒・怒・怒・怒・怒・怒・怒・怒・怒・怒・怒・怒

12月1日(土)に岩国の錦帯橋の下河原で開かれた集会に参加しました。岩国市が空母艦載機の移転(現在岩国には60機、それに新たに59機来る予定)に反対していることを理由にして、岩国市庁舎の建設への補助金交付が国からの一方的な打ち切りをうけています(35億円)。この穴埋めに合併特例債をあてるという井原市長の予算案が、受入れ容認派の反対で、11月

16日の臨時市議会で否決されました。(四度目の否決。)再度予算案が提出されるのにあわせて「予算案を市民の手で通そう」として開かれた集会です。集会イメージは、歴史教科書の改ざんに反対という県民の意志を示した沖繩の11万人集会。なんとかして状況を切り開こうということです。

ゴルフ接待など総額1千万近くの賄賂を受け取ったといわれる守屋前防衛次官。この守屋次官が米軍再編を先頭になって進めてきた張本人といわれます。地元意向など一切聞くことなく、「米軍再編促進法」などという悪法までつくり、強引に進めてきました。岩国市民は昨年3月12日に住民投票を実施し、六割近くの投票率で九割近くの人が艦載機受け入れに反対しました。これが民意です。なによりこの事実は大

事に考えなければいけません。住民投票の結果が無視されるようなこと、これは絶対に許されません。この民意に対して国・防衛省がしてきたことは岩国市への兵糧攻めです。それもまず常識では考えることのできないやりかたです。まずは市庁舎建設資金の35億円カット。(実は今補助金が出て、建設が大方終了していて、その分補助金が出ない。5億円ほどにしかならないそうです。)もっと大きな問題は愛宕山開発事業の赤字。これは岩国基地の滑走路の沖合い移転に伴う埋め立て用土砂を、愛宕山から掘り出し、跡地を住宅建設にするというものです。金融機関からの借入残高が2007年度末で251億円あり、現在、先の見通しがたらず工事は中止されています。負担額は県が167億円、市が84億円となっています。この用地を国が買い取り、米軍住宅(米兵・家族4000人用)にするという話しができています。金額からいってもこちらのほうが大きい問題で、艦載機移転容認が前提となる話しです。岩国市長はこれまで防衛関係に頼り過ぎたと言いますが、国が主導した公共事業の赤字のツケを地方に押し付けて、切り捨てるという典型的な例です。いず

れにしても大変な負担になります。

岩国基地滑走路沖合い移設工事の土砂搬出を請け負った会社がそのまま次は名護に行くといううわさがあるそうです。総額2兆円といわれる沖繩海兵隊のグアム移転にも「民間活力」が導入されるらしい。グアムでの米兵住宅は一戸8千万するらしい。「防衛省の不祥事問題」は、山田洋行などという小さな商社の問題ではありません。もっと大きな軍需産業、ゼネコンが「合法的」に金儲けをして、そのツケは地方自治体財政や国民に回されている、そして、日本はより深く米軍の「テロとの戦い」に組



怒りさん許は打ち仕の国

